

「持続可能な畜産を目指して ～温暖化を防止する技術の最前線～」

令和7年

9/14 (日) 13:10～16:20

場 所：東海国立大学機構 岐阜大学 講堂
(岐阜県岐阜市柳戸1-1)

ハイブリッド開催
参加費無料



[参加申込みはこちら](#)

お申込み締切：9/8 (月)

日本畜産学会第 133 回大会
のHPからもお申込み可能です
https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsas133/content/public_symposium

13:10-13:15 開会の挨拶

菊地 和弘 (公益社団法人日本畜産学会 理事長、北里大学 獣医学部 教授、日本畜産学アカデミー会員)

13:15-13:25 本シンポジウム企画趣旨の説明

座長：山下 恭広 (日本学術会議連携会員、農研機構 畜産研究部門 上級研究員、日本畜産学アカデミー会員)

13:25-13:50

「畜産は環境に悪いのか？」

川島 知之 (宮崎大学 名誉教授、日本畜産学アカデミー会員)

13:50-14:15

「エサで牛のげっぷを減らすには」

小池 聡 (北海道大学 大学院農学研究院 教授)

14:15-14:40

「げっぷの少ない牛の生産を目指して」

上本 吉伸 (東北大学 大学院農学研究科・農学部 教授)

14:40-15:05

「家畜のふん尿からも温室効果ガスは出るの？」

野中 最子 (農研機構 畜産研究部門 畜産連携調整役)

15:05-15:20 休憩

15:20-15:45

「デジタルネイティブ世代が導く食の尊さとそれを支える環境を大切にする畜産の実現を目指して」

後藤 貴文 (日本学術会議連携会員、北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授、
日本畜産学アカデミー会員)

15:45-16:15 総合討論

座長：山下 恭広 (日本学術会議連携会員、農研機構 畜産研究部門 上級研究員)

鈴木 知之 (農研機構 畜産研究部門 乳牛精密栄養管理グループ長)

パネリスト：山本 朱美 (日本畜産学会第133回大会大会長、岐阜大学 応用生物科学部 教授)

川島 知之 (宮崎大学 名誉教授)

小池 聡 (北海道大学 大学院農学研究院 教授)

上本 吉伸 (東北大学 大学院農学研究科・農学部 教授)

野中 最子 (農研機構 畜産研究部門 畜産連携調整役)

後藤 貴文 (日本学術会議連携会員、北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授)

16:15 閉会の挨拶

木村 直子 (日本学術会議第二部会員、山形大学 大学院農学研究科 教授、日本畜産学アカデミー幹事)

主 催：公益社団法人日本畜産学会、日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会

共 催：日本畜産学アカデミー、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学、

農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」

協 賛：公益財団法人伊藤記念財団

お問い合わせ先：scj.animalscience@gmail.com

